

Noism0 + Noism1 + Noism2

実験舞踊 vol.2 **春の祭典**  
**Fratres III**

*The Rite of Spring / Fratres III*

実験舞踊 vol.2 『春の祭典』

演出振付：金森穰

音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》

出演：Noism0、Noism1、Noism2

『Fratres III』

演出振付：金森穰

音楽：A.ペルト 《Fratres》

出演：Noism0、Noism1



## Noism0&1&2 で挑む『春の祭典』と、 シリーズ最終章となる『Fratres III』を上演！

新潟公演 | 2020.6.12 (金) ~ 6.14 (日) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〈劇場〉

東京公演 | 2020.6.19 (金) ~ 6.21 (日) 彩の国さいたま芸術劇場 〈大ホール〉

札幌公演 | 2020.7.2 (木) ~ 7.3 (金) クリエイティブスタジオ (札幌市民交流プラザ 3F)

豊橋公演 | 2020.12.12 (土) 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

※新型コロナウイルスの今後の状況により、変更の可能性がございます。最新の情報は Noism のウェブサイトでお知らせしております。

### 公演に関するお問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課

Noism 担当：堀川、小野

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く)

Fax: 025-224-5626

Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

オフィシャルウェブサイト [www.noism.jp](http://www.noism.jp)



Noism



NoismPR



noism\_official

## 公演について

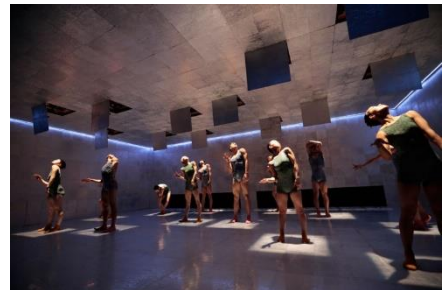
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism Company Niigata（ノイズム・カンパニー・ニイガタ）は、日本初の公共劇場専属舞踊団として2004年に新潟市で誕生しました。設立以来、国内はもちろん世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動しています。りゅーとぴあで創った作品をこれまで国内外50都市以上で上演、新潟から世界に向けて活動を展開しています。

2020年初夏の公演では、実験舞踊 vol.2『春の祭典』と『Fratres III』の新作2作品を上演します。

1913年の初演以来、今なお多くの振付家や音楽家に影響を与えるイーゴリ・ストラヴィンスキーの《春の祭典》。Noism版『春の祭典』はNoism0&1&2メンバー総勢21名が出演し、芸術監督・金森穰による”実験舞踊”シリーズの第2弾として創作。ついにNoismが『春の祭典』に挑みます！また、本作の上演を経て、今年9月に開催予定のTOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2020 [サラダ音楽祭]にて、東京都交響楽団によるスペシャル版の上演も予定しています。

同時上演の『Fratres III』は、2019年から創作を続けるシリーズの最終章です。「Fratres（フラトレス）」とは、ラテン語で親族・兄弟・同士を意味する言葉です。他者との関わりが希薄になりつつある現代社会のなかで、あえて同士を求め、集団での芸術活動を行う私たちNoismが目指すのは、この創作と上演を通して「Fratres」の言葉の意味することを集団で見出すことです。

アルヴォ・ペルトの《Fratres》の旋律に乗せ、まるで祈りの儀式のように踊る本作。シリーズ終着の先に何が見えるのか、Noismの”いま”をどうぞご覧下さい。



実験舞踊 vol.1『R.O.O.M.』（2019年）©Kishin Shinoyama



『Fratres I』（2019年）©Kishin Shinoyama



『Fratres II』（2019年）©Kishin Shinoyama

**Director's Note：創作に寄せて****実験舞踊 vol.2 『春の祭典』**

演出振付：金森穰

音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》

椅子：須長檀

衣裳：RATTA RATTARR

出演：Noism0、Noism1、Noism2

20世紀舞踊史に燦然と輝く問題作『春の祭典』に着手する。

若かりし頃から恩師ベジャールやピナ・バウシュによる傑作版を何度も観劇してきた私にとって、その着手には躊躇しかなかった。パソコン内には複数の演奏版があり、毎年数回は聞き、自分だったらどうするか妄想してみるのだが、その都度ベジャール版やピナ版がオーバーラップしてきて手を出せずにいた。2008年に発表した『Nameless Hands—一人形の家』のクライマックスで最終2楽章を用いているのだが、それも“邪道だなあ”と自嘲しながらのことであった。

しかしこの度、17歳で初めて楽曲を耳にしてから28年の歳月を経て、漸く着手することを決めた。きっかけは東京都交響楽団との共演である。

2011年にサイトウ・キネン・フェスティバル松本で知己を得て、「いつか必ず共演を」とお声がけ頂いていたヴァイオリニストの矢部達哉さん、そしてあるオペラの企画で共演する予定であったけれど、実現せずにすれ違っていた指揮者の大野和士さんとの共演とあって、二つ返事で引き受けた。

当時演目は未確定であった。それでも矢部さんの「やるなら春祭がいいですね」の言葉に後押しされ、パソコンを開いて《春の祭典》を聞いてみた。例年同様、私なりの取り組み方が見つからない。そんな時（よくすることだけれど）、作曲家ストラヴィンスキーから迫ってみようと思い立ち、ストラヴィンスキーの講演録「音楽の詩学」を購入して読み始めた。

饒舌で難解、科学的理論家でありながら土着的民族性を持ち、信仰心を抱きながら叙情性や19世紀ロマンティズムを忌避している亡命ロシア人。その人格が随所に伺われて興味深かったのだが、これとって創作のヒントにはならない。どうしたものかと思案しながら、再び音楽に身を委ねてみた。すると突然、私なりの妄想が見えたのである。

“もし《春の祭典》を演奏するオーケストラが踊り出したら？”

演奏家がそれぞれに担当するパートを踊り、その集合としてのオーケストラ（集団）から立ち現れる出来事を演出できたら。実験的アプローチを通して立ち現れる現象を直感的に構成する実験舞踊シリーズなら、この音楽の精神、人間という生物の精神的痙攣を表現できるかもしれない。21世紀の生贄達を表現できるかもしれない。

これが、私が『春の祭典』創作に着手する動機である。

## Director's Note：創作に寄せて

## 『Fratres III』

演出振付：金森穰

音楽：A.ペルト 《Fratres》

衣裳：堂本教子

出演：Noism0、Noism1

今からちょうど1年前『Fratres I』の創作を始めた私の脳裏には既に、1年後の今日『Fratres III』の創作に着手していることが想定されていた。要するに「I」も「II」も本作「III」のために創作された作品であり、1年をかけた創作プロセスが、漸くここに完結するのである。

アルヴォ・ペルトは《Fratres》の変奏版を多く発表している。中でも《Fratres for violin, strings and percussion》は稀有な楽曲である。なぜならこの楽曲には弦楽と打楽器版（アンサンブル版）と、ソロバイオリンとピアノ版（ソリスト版）という、まるで協奏曲を二分したような2つの版が存在するからだ。そしてこの2つがそれぞれに『Fratres I（群舞）』と『Fratres II（私のソロ）』に対応していることに気付いて頂ければ、本作『Fratres III』の構成をご想像いただけると思う。

本作『Fratres III』では中央のソロを取り囲むように群舞が配置される。ソロと群舞は互いに影響し合い、高揚してゆく旋律と相まって、集団的祈り、すなわち祭儀性を以って実演される。それは金森版ポレロ（ベジャールの）と言えそうな構成だが、本作におけるソロは集団を導くカリスマではなく、あくまでも集団の中の一個人である。

個人の献身（祈り）と集団の献身（祈り）は融合する事なく拮抗し“続ける”。そう、続くということこそが本作における祈りの主題である。それは中心（目標や理念）を失い、今という時間だけが個別バラバラに消費されていく時代に対する、抵抗の儀式であるとも言える。



Photo:Kishin Shinoyama

## 金森 穰 Jo Kanamori

演出振付・出演

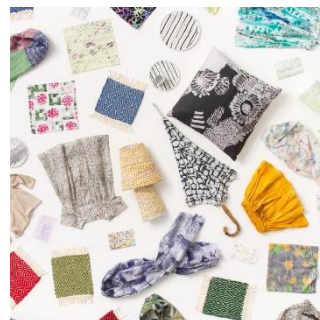
演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督/Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。京都芸術センター運営委員。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回（2018年度）毎日芸術賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com Twitter / @jokanamori

## Creators

### RATTA RATTARR ラッタラッタ | 衣裳（春の祭典）

RATTA RATTARRとは障がい者の個性や優れた美的感覚をスウェーデンの卓越した手工芸技術やデザインを学んだ専門スタッフが支援することで、障がい者がデザイナー、クラフトマンとして自立することを目的とした場所。軽井沢のアトリエではイラストレーションやパターンデザイン制作が日常的に行われ、失われつつあるデザインの発明性、創造性を色彩、重量、素材、場所、大きさ、動き、道具などのプリミティブな表現方法によって見だし、クリエイター（障がい者）とサポートするアトリエスタ（支援員）の相互補助関係、つまり概念に侵されていない、プリミティブで無垢な視覚をもつクリエイターと発見する力と応用する力をもったアトリエスタ、この二人で一つの作品を制作している。2018年 ELLE DÉCOR DESIGN AWARD “Japanese Social Design Project 賞”受賞。2019年 GOOD DESIGN 賞受賞。Noism 作品では、実験舞踊 vol.1『R.O.O.M.』（2019年）で衣裳ペイントを担当。  
www.rattarattarr.com



### 須長 檀 Dan Sunaga | 椅子（春の祭典）

SWEDEN 生まれ。王立 KONSTFACK 大学院卒業後、Sunaga Design Office 設立。Sweden メーカーヘデザイン提案を行う。2008年 Nordic Design Award 受賞。2009年 ELLE Design Award Year of Furniture 受賞。軽井沢に SUNAGA DESIGN とデザインクラフトショップ NATUR を設立。Noism『NINA—物質化する生け贄』や『solo for 2』、『ZAZA』、『愛と精霊の家』、『The Dream of the Swan』、unit-Cyan『シアンの家』の美術等、金森穰演出振付の舞踊作品でのオブジェデザインも担当している。

www.sunagadesign.com



### 堂本 教子 Kyoko Domoto | 衣裳（Fratres III）

コンテンポラリーダンス、舞踏、演劇、映画、オペラなどの衣裳デザイン製作。99年と03年には、チェコ・ブラハ カドリエンナーレ国際舞台美術展出展。00年文化庁芸術家在外研修として、バットシェバ舞踊団の衣裳デザイナー Rakefet Levy に師事。99年伊藤薫朔賞奨励賞、06年カイロ国際実験演劇祭ベストセノグラフィー賞（劇団地点の衣裳）、第36回橘秋子賞舞台クリエティブ賞受賞。



## Noism Company Niigata

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0（ノイズムゼロ）、プロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）、研修生カンパニーNoism2（ノイズムツー）の3つの集団があり、2004年の設立以来、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動している。Noism1 はりゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動。Noism2 はプロをめざす若手舞踊家が所属し、劇場での公演の他に、新潟市内で開催されるイベントや学校への出前公演等、地域に根ざした活動を続けている。Noism0 は、舞踊に限らず、年齢と経験を積み重ねた芸術家だからこそ生み出せる表現を、新潟から世界に向けて発信していく。

Noism の由来は、「no-ism＝無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に有用な新しい形に置き換え、現代人としての身体表現を後世に伝えていこうとしている。

### Noism0



金森穰  
Noism 芸術監督



井関佐和子  
Noism 副芸術監督



山田勇気  
Noism2 リハーサル監督

### Noism1

Photo : Kishin Shinoyama(Kanamori) 、Noriki Matsuzaki



池ヶ谷奏



ジョフォア・ボブラヴスキー



井本星那



林田海里



チャーリー・リャン



カイ・トミオカ



スティーヴン・キルダン



タイロン・ロビンソン



鳥羽 絢美



西澤真耶



三好綾音（準メンバー）



森加奈、池田穂乃香、カナール・ミラン・ハジメ、杉野可林、長澤マリーヤ、橋本礼美、坪田光、中村友美

## Noism0 + Noism1 + Noism2

## 実験舞踊 vol.2 『春の祭典』 / 『Fratres III』

## 実験舞踊 vol.2 『春の祭典』

演出振付：金森穰

音楽：I.ストラヴィンスキー 《春の祭典》

椅子：須長檀

衣裳：RATTA RATTARR

出演：Noism0、Noism1、Noism2

## 『Fratres III』

演出振付：金森穰

音楽：A.ペルト 《Fratres》

衣裳：堂本教子

出演：Noism0、Noism1

## 新潟公演 Niigata

2020年6月12日（金）19:00、13日（土）17:00、14日（日）15:00 \*全3回

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉 新潟市中央区一番堀通町3-2

入場料：S席：4,500円、A席：3,500円、U25：3,000円、高校生以下：1,000円（税込・全席指定）

\*U25=25歳以下対象。U25・高校生以下チケットには座席の区分がありません。入場時要身分証明書。

取扱：▶りゅーとぴあ オンライン・チケット <https://piagettii.e-get.jp/ryutopia/pt/>

※新型コロナウイルス感染拡大予防のためりゅーとぴあではチケット販売をオンライン限定にさせていただきます。

▶イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB 共通）

▶チケットぴあ 0570-02-9999（24時間・音声自動応答 Pコード：501-257）

チケット発売日：りゅーとぴあ会員先行 3月26日（木） / 一般 3月28日（土）

## 東京公演 Tokyo

2020年6月19日（金）19:00、20日（土）17:00、21日（日）15:00 \*全3回

会場：東京芸術劇場〈プレイハウス〉 東京都豊島区西池袋1-8-1

入場料：5,500円、U25 3,500円（全席指定）\*U25（25歳以下対象）高校生以下は入場時要身分証明書。

取扱：▶りゅーとぴあ オンライン・チケット <https://piagettii.e-get.jp/ryutopia/pt/>

※新型コロナウイルス感染拡大予防のためりゅーとぴあではチケット販売をオンライン限定にさせていただきます。

▶イープラス <http://eplus.jp/>（PC・MB 共通）

▶チケットぴあ 0570-02-9999（24時間・音声自動応答 Pコード：501-259）

▶東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296（10:00～19:00）<https://www.geigeki.jp/t> \*東京公演のみ

チケット発売日：芸劇先行 3月26日（木） / 一般 3月28日（土）

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：公益財団法人東京都歴史文化振興財団 東京芸術劇場 ※東京公演

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館



## 札幌公演 Sapporo

---

2020年7月2日(木)、3日(金)各18:30\*全2回

会場：クリエイティブスタジオ（札幌市民交流プラザ3F）

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

お問合せ：札幌市民交流プラザ 劇場事業課 011-271-1950

## 豊橋公演 Toyohashi

---

2020年12月12日(土) 16:00 \*全1回

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団 共催：豊橋市

お問合せ：プラットチケットセンター 0532-39-3090（休館日を除く10:00-19:00）

## 【関連企画】東京都交響楽団×Noism

---

2020年9月6日(日)

会場：東京芸術劇場〈コンサートホール〉

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2020 [サラダ音楽祭] メインコンサートの《春の祭典》（指揮：大野和士）にNoismが出演。本公演を経た、オーケストラとの共演によるスペシャル版です。

▶最新情報は、サラダ音楽祭公式サイトでご確認ください。<https://salad-music-fes.com/>

## 公演に関するお問い合わせ

---

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 事業企画部 舞踊企画課 Noism 担当：堀川、小野

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000（平日10:00~18:00/休館日除く） Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト [www.noism.jp](http://www.noism.jp)  Noism  NoismPR  noism\_official